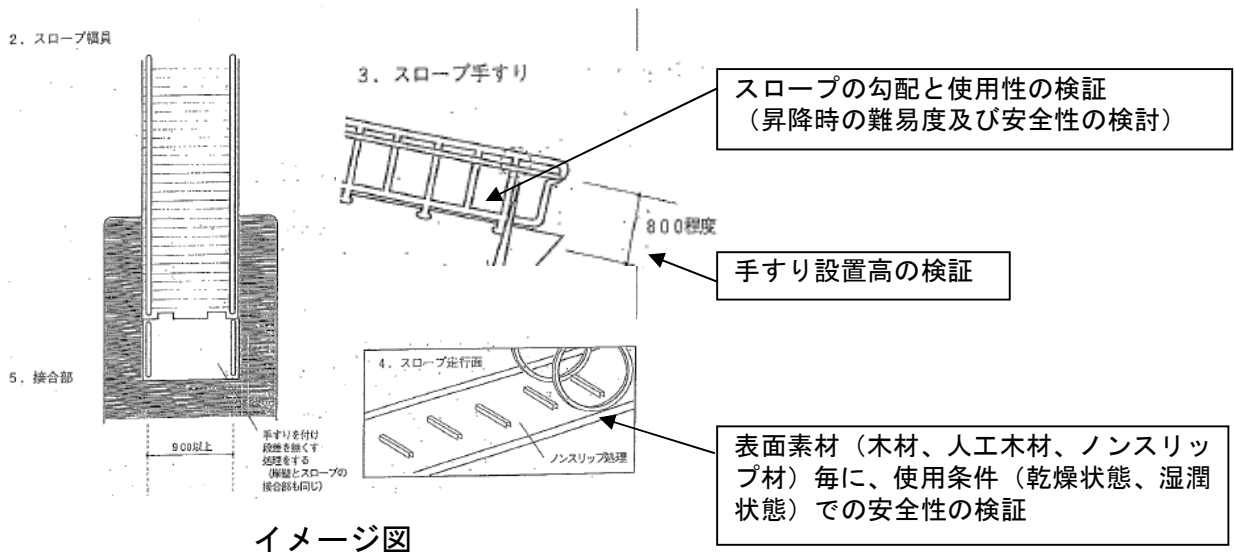


マリーナなどにおけるポンツーンやスロープの安全性を確認するための実証実験のイメージ

○スロープの勾配と表面形状

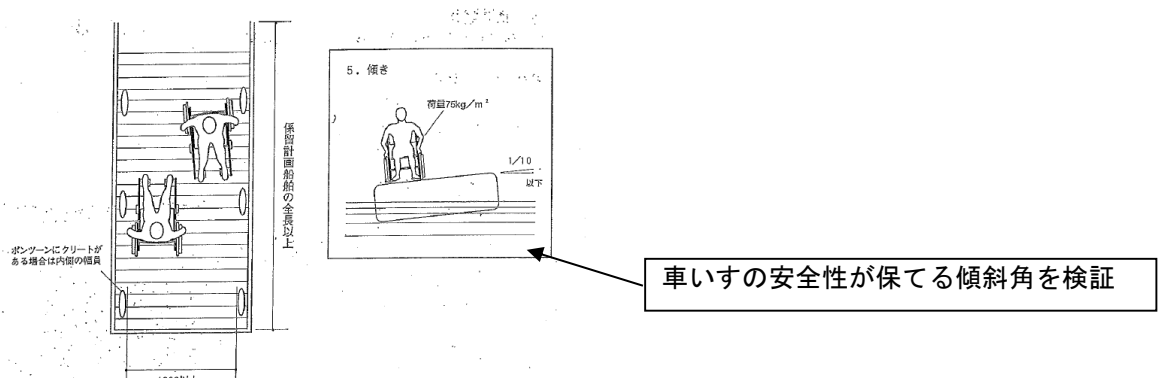
- ①スロープの勾配と使用性の検証（電動車椅子、車椅子自走と介助者ありの組み合わせ）
 - ・海上ポンツーンに至るスロープの勾配条件による昇降時の難易度及び安全性の検討
 - ・適切な手すり設置高の検証
- ②表面材質による使用条件の検証
 - ・表面素材（木材、人工木材、ノンスリップ材）毎に、使用条件（乾燥状態、湿潤状態）での安全性の確認を行う



イメージ図

○ポンツーンの傾き（横断勾配）

- ①傾きの安全値の検討（許容範囲）
 - ・乗降船時に片側に障害者・介助者が集中した場合を想定し、人為的にポンツーンの傾き等が発生させ、車いすの安全性が保てる傾斜角を測定する。さらに動揺を加えた状態での計測を行う。



※国土交通省港湾局と国土技術政策総合研究所は、以上の実証実験について、次の技術面の協力を実施。

- 港湾施設設計の知見、気象条件（潮位）を踏まえた実証実験方法の助言
- 傾斜角の計測等の技術的協力